

## H. P. Report

## e-Japanの考察(2)

ネットワークインフラの整備についてですが、これまでの政府の国家戦略とは異なり、基本的に民間主導となっています。これは、インターネットの急速な普及によって、特別なネットワークを構築するよりも、オープンでグローバルなネットワークであるインターネットをネットワークの基礎としたためです。なにしろ、2001年3月にわずか7万人であったxDSLの利用者が、その1年後の2002年3月には238万人に達し、FTTHのサービスが、電力会社の参入もありもあり、家庭での100Mbpsインターネット接続環境の普及が始まっているのですから、何も特別のネットワークを全国に構築しようとする必要はないわけです。ネットワーク関連の法整備としては、インターネット上の認証手続きをルール化した電子署名、認証法が施行済みですし、次世代のIPであるIPv6（現在32ビットであるIPのアドレス空間を128ビットに拡大し、急激な普及によるアドレスの枯渇を解決し、ルータの負荷軽減とセキュリティへの対応を行おうとするもの）の対応サービスも本格化しています。これは、各省庁の規制緩和にもよるもので、高速無線アクセスに関しては、26GHz帯の周波数を対象に、情報通信審議会が答申後わずか半年で省令改正に至っています。しかし、それだけでは2005年までに3000万人が高速の、1000万人が超高速のインターネット接続環境を利用できるわけではありません。大都市部、政令都市、県庁所在しにおいてはNTT、電力会社を中心とした民間主導のインフラ整備で十分ですが、どうしても採算性の低いエリアではカバーが遅れてしまい、地域格差が出てきます。この地域格差を是正するために民間企業が光ファイバーの敷設をしやすいように規制緩和を相次いで実施したり、国土交通省が管轄している光ファイバーをNTTよりも安く貸し出すなどを行っています。

これとは別に行政機関間のネットワークインフラとしては、霞ヶ関の省庁間で構築された霞ヶ関WANがあります。これは、1997年に構築された、霞ヶ関にある省庁間を結んでメールのやり取りなど、イントラネットを構築したものです。これを全国の自治体へ拡大するものが総合情報ネットワーク、LGWANで、まずは各県庁、政令指定都市間を接続し、各自治体間への接続、霞ヶ関WANへの接続を行うことによって、自治体間のイントラネットをインターネットとは別に構築しようとするものです。LGWANは既に各県庁、政令指定都市間の接続、霞ヶ関WANとの接続は完了し、2003年度に全地方公共団体間での構築が完了します。地方公共団体間でのイントラネットを構築して何ができるかですが、現在のところはこれまで文書で行っていた書類の配布をメールで行うことができるだけです。徐々に各地方公共団体それぞれでの電子化が進み、文書管理システムが稼動すれば、それらをこのLGWANで接続しようということになっているようです。この他のネットワークとして、住民基本台帳ネットワークがあります。これは、いろいろ問題が指摘されながらもこの8月に稼動したもので、各市町村の住民基本台帳システムを相互に接続することによって、住民票の移動、戸籍抄本の発行を全国どこからでもできるようにしたものです。これらのネットワークは不特定多数がアクセスできるインターネットとは相互接続されていません。しかし、住民が行政サービスを受けようとする場合、やっぱりインターネット経由となるわけですから、なりすましやデータの盗聴を防ぐために電子政府用の認証基盤、電子政府用の公開鍵基盤とその関連アプリケーションGPKIの運用も始まっています。（次回へ続く）

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 10月21日号

特集 富士通HDD問題は、なぜおきたのか

→富士通製のHDDに不具合が発生する可能性が判明し、HDD交換という事態が起きた。apricotのCX210のHDDも交換ということになっているが、原因はHDDのコントローラのパッケージ封止材に含まれた難燃剤としての赤リンが、水分と反応することによってICのリードの皮膜である銀をイオン化させリード間をつないでしまったために起こったもので、今後同じ封止材を使ったチップで同様の不具合の発生が考えられる。環境への負荷が高いハロゲン系難燃剤の代替のホープとされてきた赤リンの代替を探す必要がある。

○日経エレクトロニクス 11月4日号

特集 センサも無線もMEMSで作る

→MEMSはシリコンチップ上に微小な電子機械システムを実現する技術で、LSIと個別部品の融合で実装寸法を飛躍的に小さくし、消費電力を数桁下げられる可能性がある。MEMSは、DLPで使われるDMDデバイスも含まれる。

解説 LSIがあっても作れない 壁にあたるPCI Express

→PCIバスを代替する次世代インターフェース「PCI Express」。10年使われてきたPCIに替わるシリアル伝送方式の入出力インターフェースだが、関連LSIが入手できるようになったが、1GHzを超える信号を取り扱うことがそう簡単でないことが判明した。

○日経パソコン 10月28日号

特集 今さら聞けない素朴な“どっち”

→ノートパソコンの充電の仕方、CD-Rのラベルが機はサインペンかボールペンかなどの、どちらを選んでいいか分かりにくいパソコンに関する“どっち”を、白黒はっきりさせる特集。

特集 使える「DVD」はどれだ！

→DVD-R、DVD+R、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAMといろいろあるDVDの記録メディア。乱立する規格から適切なメディアを選ぶには、全部が使えるドライブはない。

○日経バイト 11月号

特集 検索技術が目指すもの

→インターネット上の検索は「Google」がそれまでの検索エンジンを追い抜いて現在トップに立っている。「Google」は単に検索するだけでなく、リンクの構造を解析してより信頼性の高いページを検索する特徴がある。ポスト「Google」は、信頼性、質、速さで特徴を出そうとしている。

特集 メールフィルタリングの使い道

→ユーザと管理者が望まないメールの受診や送信を食い止めるサービス／製品が増えている。いかにして不要なメールを受け取らないようにするのか。また逆に社内情報の漏洩をどう防ぐか。メールセキュリティへの関心が高まり、ウィルス送信を防止し、うっかりミスを防止し、危険を

回避しなければならない。

○日経オープンシステム 11月号

特集 短期開発の切り札「パッケージ」

→短期開発を実現するために、パッケージを導入するユーザが増えてきている。パッケージの価値を評価して導入することで、これまでのようなカスタマイズだらけのパッケージ導入にはならない。

○日経ネットビジネス 11月号

特集 入門 ネット戦略マネジメント

→ネット戦略を立てるにはどうすればよいか。まず何から始めるか。人はどう集めるか。予算をどう確保するか。システムをどう構築するかなどヒト・モノ・カネを確保する3つのステップ。

特集 個人情報の流出を阻止せよ

→個人情報のインターネットへの流出をどう防ぐか。今すぐチェックすべき5つのポイント(単純ミス、使っていないサーバ、セッション管理、FWの内側、IDとパスワード)を順にチェックしていく。

○N+I NETWORK Guide 11月号

特集 冗長化で止まらないネットワークを作る!!

→企業にとってネットワークは必要なものになり、止まらないネットワークが求められている。ネットワークを冗長化するには。

特集 電子メールセキュリティのすべて

→電子メールは便利だがさまざまなリスクもある。電子メールのリスクマネジメントを行い、メールセキュリティ対策を実践する必要があるが高まっている。

○ASCII 11月号

特集 「超」改造術

→ガス冷、多重HD、チップ交換などすべて無保証・規格外の改造術を公開。多少危ない世界に入っている。

○DOS/V magazine 11月15日号

特集 PCレスキュー隊

→PCを自作したり活用したりするときに役立つレスキュー。基本ハードウェア、周辺機器、OS、ネットワークに分けて質問形式で掲載。

企画 Windowsの深層原理

→あまり考えたことのないWindowsのメモリの使われ方を解説。論理アドレス、物理アドレス、メモリ管理ユニット(MMU)からWindows XPに見るメモリの使われ方まで。